

安全データシート

会社名：株式会社 高純度化学研究所

住 所：〒350-0284 埼玉県坂戸市千代田 5-1-28

電 話：049(284)1511 F A X：049(284)1351

作成部門：品質保証部

整理番号：MOH04XAG

作 成：1996年 6月 7日

R2：2019年 2月 5日

1 化学物質等及び会社情報

1.1 製品情報

製品名：(NH₄)₆Mo₇O₂₄ · 4H₂O ヘプタモリブデン酸アンモニウム Ammonium heptamolybdate, hydrous

カタログ#	MOH04XB
純度, 形状, 備考	-, 固体, -

1.2 会社情報 上部に記載

2 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	環境に対する有害性	物理化学的危険性
急性毒性(経口)；区分4 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性；区分2A 発がん性；区分2 生殖毒性；区分2 標的臓器毒性(単回暴露)；区分3 標的臓器毒性(反復暴露)；区分2	データなし	可燃性固体；区分外 自然発火性固体；区分外 自己発熱性化学品；区分外 水反応可燃性化学品；区分外

GHS ラベル：C,W



絵表

注意喚起語	警告
危険有害性情報 飲み込むと有害 強い眼刺激 発がんのおそれの疑い 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い 呼吸器への刺激のおそれ 長期又は反復暴露による臓器の障害のおそれ(腎臓)	注意書き 取り扱う前に安全注意書きを読み理解すること。 取り扱いの際には保護眼鏡、手袋、保護マスク、保護衣他必要な保護具を着用すること。 粉塵、ミスの吸入を避ける。取扱い中の飲食喫煙を避け取扱い後は手洗いを励行。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、楽な姿勢で休息させる。 飲み込んだ場合、気分が悪いときは医師の診断、手当を受けること。口をすすぐこと。 眼に入った場合、流水で数分間注意深く洗う。刺激が続く場合は、医師の診断を受ける。 暴露したとき、または気分が悪いときは医師に連絡すること。 涼所に置き、日光を避ける。容器を密閉して換気の良いところで保管する。 施錠して保管すること。 内容物/容器を法規に従って廃棄すること。

国・地域情報：・ 労働安全衛生法 表示・通知対象物(モリブデン及びその化合物)

その他の危険有害性：・ 加熱すると分解し、刺激性及び有毒なガスを発生する。

・ その他該当項目に参考情報を記載した。

3 組成, 成分情報

化学名：七モリブデン酸六アンモニウム四水和物

単一製品, 混合物の区分：単一製品

Hexaammonium heptamolybdate, tetrahydrate

Ammonium molybdate, tetrahydrate

化学式：(NH₄)₆Mo₇O₂₄ · 4H₂O

組 成：100 %

P R T R法に基づく表示：モリブデン含有率；54%

官報公示整理番号 : ・ 化審法 既存化学物質 1-389

C A S # : 12054-85-2

R T E C S # : QS5076000(無水物)

T S C A : 登録(無水物)

E I N E C S : 2347224(無水物)

4 応急措置

目に入った場合 : ・ 流水で眼を最低 15 分間洗浄し、眼科医の手当を受ける。

- ・ 洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球・瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。

皮膚に着いた場合 : ・ 物質に触れた部分を多量の水を流しながら、石鹸を使ってよく落とす。

- ・ 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、医療処置を受ける手配をする。

吸入した場合 : ・ 被災者を空気の新鮮な所に移し、医療処置を受けさせる。

- ・ 鼻をかませ、うがいをさせる。

飲み込んだ場合 : ・ 直ちに医療処置を受ける手配をする。水でよく口の中をうがいさせる。

5 火災時の措置

一般的注意 : ・ 表題製品は不燃物であり、消防法の非危険物である。

- ・ 消火の際には必ず保護具を着用する。
- ・ 火災時には、刺激性及び毒性のガスを生じるおそれがある。

消火方法 : ・ 他の危険物の消火条件に従う。消火剤や消火方法の制限はない。

6 漏出時の措置

一般的注意 : ・ 可能であれば漏れを止める。こぼれたものに触れない。

処理作業者に対する注意 : ・ 作業の際には必ず保護具を着用し、物質の付着、吸入を防ぐ。

- ・ 屋内の場合処理が終わるまで十分に換気する。屋外では風上から作業する。

環境影響に対する注意 : ・ もれ出た物質や希釈水が河川等に排出されないよう注意する。

もれ出た物の処理に対する注意 : ・ できるだけ掃き集めて密閉できる空容器に回収する。

7 取り扱い及び保管上の注意

取扱上の注意

- * 作業者の暴露防止 : ・ 排気装置や適切な保護具を利用し、作業者に物質が触れないよう、また物質の蒸気や粉塵を吸引しないようにする。
- ・ 取扱いは、換気の良い場所で行う。

保管上の注意

- * 一般的注意 : ・ 容器を密閉して、乾燥した冷暗所に保管する。

8 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : ・ 作業環境評価基準(2018) 規定なし。

許容濃度 : 下表参照 (ーは記載なしを示す)

成分名	機関名	産衛学会(2018) mg/m ³	ACGIH(2013) TLV-TWA mg/m ³	OSHA(2006) PEL mg/m ³
モリブデン可溶性化合物 (as Mo)		ー	0.5(R)	5

TLV, PEL ; いずれも許容濃度、TWA:時間加重平均値、(R) : 吸入性粉塵

設備対策 : ・ 製品に暴露される可能性のある場合は局所排気設備等の排気設備を使用すること。

保護具 : ・ 空気呼吸器, 防毒マスク(酸性ガス用), ゴーグル型保護眼鏡, 保護手袋, 保護長靴

9 物理的及び化学的性質

注) 指数以外の右肩付数は温度(°C)

外 観 等 : ・ 無色固体

化 学 式 : (NH₄)₆Mo₇O₂₄ · 4H₂O

式 量 : 1235.9

融 点 : 90 °C(ーH₂O), 190 °C(分解)

密 度 : 2.498 g/cm³

溶 解 性

- * 水 : ・ (冷水)易溶, (温水)分解

可燃性：・ 不燃性
酸化性：・ なし。

10 安定性及び反応性

化学的安定性：・ 容器を密封して、乾燥した冷暗所保管で安定である。

反応性：

* 混触危険物質：・ 酸, 強酸化剤

11 有害性情報

急性毒性(経口)：・ GHS 判定 区分4；飲み込むと有害
・ 経口 ラット LD₅₀ = 680 mg/kg(環境省リスク評価書第10巻(2012))

皮膚腐食性/刺激性：・ GHS 判定 データなし。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：・ GHS 判定 区分2A；強い眼刺激
・ HSDB(2015)による。

呼吸器感作性/皮膚感作性：・ GHS 判定 データなし。

生殖細胞変異原性：・ GHS 判定 データなし。

・ 変異原性が認められた既存化学物質等(平成29年11月21日現在)に該当しない。

発がん性：・ GHS 判定 区分2；発がんのおそれの疑い

・ 各成分のがん原性ランクを下表に示す。(－：記載なし)

成分名 \ 機関名	産衛学会 (2018)	ACGIH (2013)	IARC (2018)	NTP (2016)
モリブデン可溶性化合物	－	A3	－	－

ACGIH A3 動物実験では発がん性が確認されたがヒトの発がんとの関連が未知の物質, プロセス。

生殖毒性：・ GHS 判定 区分2；生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

・ 可溶性モリブデン化合物であることによる。

特定標的臓器毒性

単回曝露：・ GHS 判定 区分3；呼吸器への刺激のおそれ

・ DFGOT vol. 18(2002)等の記述による。

反復曝露：・ GHS 判定 区分2；長期又は反復暴露による臓器の障害のおそれ(腎臓)

・ 環境省リスク評価書第10巻(2012)による。

吸引性呼吸器有害性：・ GHS 判定 データなし。

12 環境影響情報

水性環境急性/慢性有害性：・ GHS 判定 データなし。

オゾン層への有害性：・ GHS 判定 データなし。

魚毒性：・ 現在のところ知見なし。

分解性：・ 現在のところ知見なし。

蓄積性：・ 現在のところ知見なし。

土壌中の移動性：・ 現在のところ知見なし。

13 廃棄上の注意

廃棄方法：・ 専門の業者に委託する。

特別管理産業廃棄物：・ 該当しない。

14 輸送上の注意

国連分類：(非危険物)

国連番号：－

輸出統計：2841.70-000

輸入統計：2841.70-000

海洋汚染：・ 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律：海洋汚染物質に該当しない。

